

令和2年2月17日

県所管域各障害福祉サービス事業所等代表者 殿

神奈川県福祉子どもみらい局  
福祉部障害サービス課長

社会福祉施設等における新型コロナウイルスへの対応について  
(通知：令和2年2月17日現在)

本県の障がい福祉行政の推進につきましては、日頃格別の御理解と御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

本件について、厚生労働省が現在の考え方として留意事項を取りまとめたものを令和2年2月5日にお伝えしたところですが、留意事項の一部に変更がありましたので、連絡いたします。内容を御確認の上、御対応くださるようお願いいたします。

新型コロナウイルスについては、日々状況が変化しているため、必要に応じて、最新の情報や追加的な留意事項を提供する場合があります。

2月13日に、当該ウイルスに関連し、県内で死亡症例がありました。

対応に当たっては、社会福祉施設等の職員が新型コロナウイルスについて正しい認識を持つとともに、感染対策マニュアル等を通して、基本的な感染症対策を含めた共通理解を深めるよう、引き続き努めていただくようお願いします。

(参考)

○ 「保育所における感染症対策ガイドライン（2018年改訂版）」（厚労省）  
<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujidoukateikyoku/0000201596.pdf>

○ 「高齢者介護施設における感染対策マニュアル改訂版」（厚労省）  
<https://www.mhlw.go.jp/content/000500646.pdf>

※ 障害福祉サービス等事業者等については、「保育所における感染症対策ガイドライン（2018年改訂版）」や「高齢者介護施設における感染対策マニュアル改訂版」を御参照ください。

## 留意事項

(令和2年2月17日時点更新 下線部が更新した箇所です。)

- (1) 新型コロナウイルスについては、風邪やインフルエンザ同様に、まずはマスク着用を含む咳エチケットや手洗い、アルコール消毒等により、感染経路を断つことが重要です。職員、子ども、障がい者や高齢者（以下「職員等」という。）だけでなく、面会者や委託業者等、職員等と接触する可能性があると考えられる者も含めて、「保育所における感染症対策ガイドライン（2018年改訂版）」や「高齢者介護施設における感染対策マニュアル改訂版」等を参照の上、上記の対応を行ってください。

(参考)

- 「保育所における感染症対策ガイドライン」(厚労省)、P.8(飛沫感染対策)、P.12(接触感染対策)
- 「高齢者介護施設における感染対策マニュアル改訂版」(厚労省)、P.4(感染経路の遮断)

- (2) 概ね過去 14日以内に湖北省又は浙江省（※1）から帰国した職員等（湖北省又は浙江省から帰国した者と濃厚な接触をした者を含む。）については、保健福祉部局、保健所並びに医師又は嘱託医と連携の上、発熱(概ね37.5℃以上)や呼吸器症状があるかどうかを確認し、次の(ア)又は(イ)に従って対応してください。該当する職員等がいる場合、施設長は、速やかに市区町村に対して、人数、症状、対応状況等を報告するとともに、発熱等の症状により感染が疑われる職員等がいる場合は、保健所に報告して指示を求めてください。

(※1) 地域については、今後の流行状況に合わせて変更の可能性があります。地域の変更については別途連絡します。

- (ア) 発熱等の症状により感染が疑われる職員等については、他人との接触を避け、マスクを着用させるなどし、速やかに最寄りの保健所などに設置される「帰国者・接触者相談センター」に電話連絡し、センターから指定された医療機関を受診してください。（※2）

- (イ) 現に症状がない職員等についても、帰国又は接触から 14日間は外出を控えていただくよう、要請するとともに、健康状態を観察してください。症状が出現した場合には、上記(ア)に従ってください。

- (※2) 「新型コロナウイルスに関するQ&A（一般の方向け）」(令和2年2月13日時点版)では、世界保健機関（WHO）のQ&Aによれば、現時点

の潜伏期間は1日から12.5日(多くは5日から6日)とされており、  
また、他のコロナウイルスの情報などから、感染者は14日間の健康  
状態の観察が推奨されています。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/dengue\\_fever\\_qa\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html)

各都道府県に設置されている「帰国者・接触者相談センター」の一覧は下記をご覧ください。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/covid19-kikokusyassessyokusya.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19-kikokusyassessyokusya.html)

- (3) 新型コロナウイルスに関しては、現段階では不明な点も多いことや、日々状況が変化している現状を踏まえ、最新かつ正確な情報(※3)を保健所等の関係機関と十分連携しつつ、収集してください。また、これらの情報を職員に提供するとともに、必要に応じ、子どもや保護者、障がい者及び高齢者、並びにこれらの家族に対する情報提供や相談対応に努めてください。

(※3) 以下に掲載するHP等を活用し情報収集してください。

- ・「新型コロナウイルスに係る厚生労働省電話相談窓口(コールセンター)のフリーダイヤル化について」(厚労省)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_09347.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_09347.html)

- ・「新型コロナウイルス感染症の対応について」(内閣官房)

[http://www.cas.go.jp/jp/influenza/novel\\_coronavirus.html](http://www.cas.go.jp/jp/influenza/novel_coronavirus.html)

- ・新型コロナウイルス感染症について(厚労省)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)

- (4) 職員等に対し、現在の知見の下での新型コロナウイルスに関する適切な知識を基に、新型コロナウイルスを理由とした偏見が生じないようにするなど、職員等の人権に十分配慮してください。

問合せ先

施設指導グループ 大嶋

電 話 : 045-210-4705 (直通)

ファクシミリ : 045-201-2051